

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	被保険者管理事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	今野 忠光			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者	意図	被保険者への医療給付のために適正な資格管理を行う。
事業内容	後期高齢者医療制度加入者が適切な医療を受けられるよう、被保険者証などの新規発行・再交付の手続き及び毎年8月の一斉更新など被保険者の資格管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年4月の制度開始以来、医療給付や保険料徴収の算定基礎となる資格管理を厳正に行っている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	被保険者ひとりに対する事業費	91.44	89.48	83.75	円
②	被保険者数	18,788	20,053	21,267	人		平均被保険者数
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

本事業は、後期高齢者医療制度に基づいた被保険者の資格管理に係る事業のため、被保険者数の増加が続く中で、流山市としての取組みや工夫によって、成果等に大きく影響を及ぼすことは難しい。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

本事業は、後期高齢者医療制度に基づいた被保険者の資格管理に係る事業であるため、被保険者数の増加が続く中で、流山市としての取組みや工夫によって、成果等に大きく影響を及ぼすことは難しい。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	8,593,266	8,528,840	8,422,747
事業費(b)(円)	1,717,966	1,794,300	1,781,107
うち一般財源	1,717,966	1,794,300	1,781,107
職員給与と費(c)(円)	6,875,300	6,734,540	6,641,640
人役・職員(人)	0.92	0.92	0.92
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.50	0.50	0.50
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	被保険者の資格管理、被保険者証等の発行に際し、個人情報取扱いに細心の注意を払う。	③取組における課題(Check)	被保険者が高齢化する中で、身分証になり得る被保険者証等各種証書の発行に際しては、より慎重な対応を心がける。
②H30に実施した取組(Do)	被保険者証等の適切な交付のため、申請に際しては本人確認の徹底に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	保険資格の有無や負担区分等については、医療給付に関しても影響することから、適正な資格管理に努める。